

平成30年1月31日
東日本高速道路株式会社

**2月1日～2日にかけて関東地方で降雪の予報が出ています
通行止めの可能性があることから不要不急のお出かけは控えてください**
～高速道路をご利用の際、雪道は冬用タイヤ・タイヤチェーンを装着し、
スピードを控え、より一層の安全運転をお願いします～

2月1日(木)～2日(金)にかけて、南岸低気圧通過により関東地方で降雪の予報が出ています。
別紙の区間において通行止めの可能性があることから、降雪時には不要不急のお出かけは控えるようお願いします。

高速道路をご利用の際は、最新の交通状況(NEXCO東日本道路交通情報サイト「ドラとら」(ドライブトラフィック)【PC】<https://www.drivetraffic.jp>【携帯】<http://m.drivetraffic.jp>)を確認していただくとともに、雪道は冬用タイヤやタイヤチェーンを装着し、視界不良や路面状況の悪化に十分注意して、急ハンドル・急ブレーキ・急発進など「急」のつく操作は控え、車間距離を十分にとって、スピードを控えたより一層の安全運転をお願いします。

なお、NEXCO東日本(東京都千代田区)は、先週22日～23日未明にかけて、降雪の到来の前日にホームページなどにより通行止め等が予想される路線をお知らせし、お客さまに対し「不要不急の外出」を控えていただく広報を実施しました。

その結果、1月22日の首都圏における代表路線の平均交通量は、降雪のなかった前年同時期と比較して、約2割少ない状況でありました。**【データ参照】**

また、高速道路にノーマルタイヤの車両が流入して立ち往生車両が発生しないよう、約900名を動員して、関東地方の約160箇所のインターチェンジや本線料金所において冬用タイヤやチェーン装着のチェックを行いました。

その結果、首都圏では概ね5割以上の車両がノーマルタイヤもしくはチェーン未装着であったため、高速道路への流入を制限させていただきました。

※積雪もしくは凍結している雪道の走行規制は、都道府県道路交通法施行細則または道路交通規則で詳細が定められており、違反行為(ノーマルタイヤによる走行等)は反則金の対象となります。

当社では、高速道路に積雪が予想される場合または積雪があった場合は、お客さまが安全・安心に高速道路を走行できるよう、道路が凍結しないように凍結防止剤を撒く作業や、道路の雪を取り除く除雪作業を行い、安全・安心な高速道路サービスを提供してまいりますので、ご理解・ご協力をお願いします。



《1月22日関越道積雪状況》



《東北道 栃木 IC タイヤチェックの様子》

降雪による高速道路通行止め予想区間(2月1日夜間～2日)

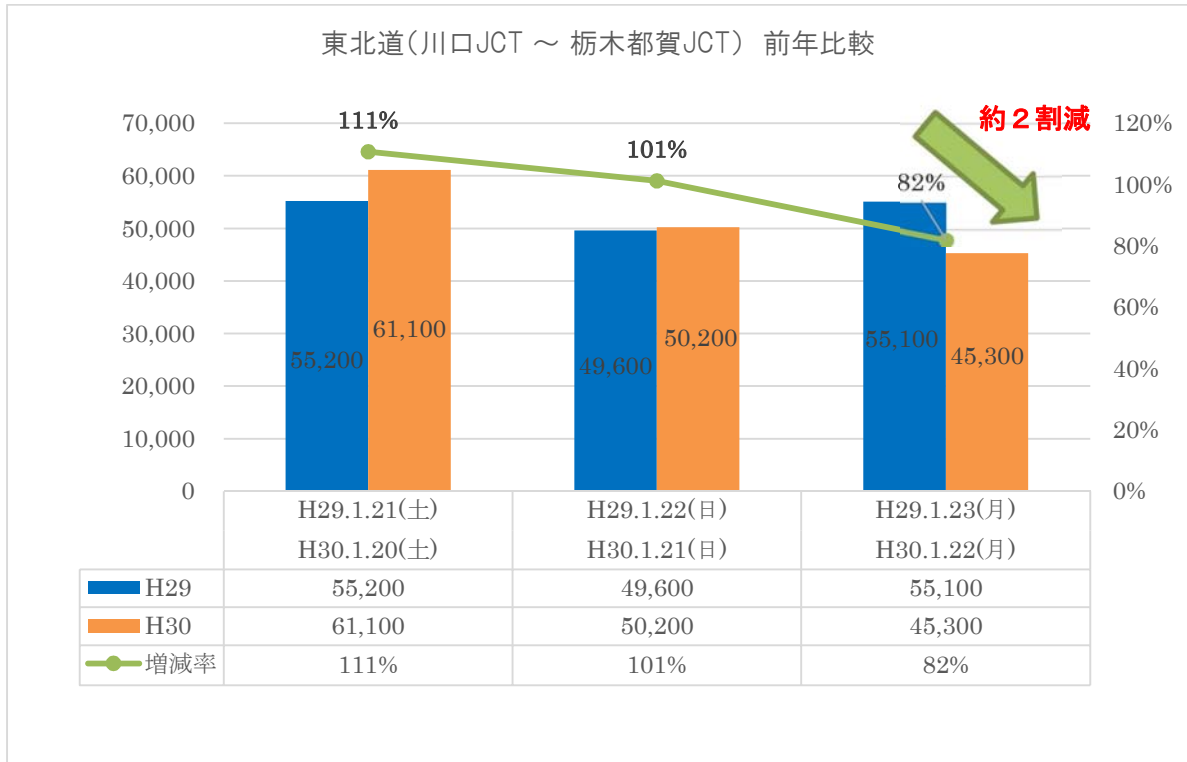
(1月31日 10:00時点)

道路名	区間
E4 東北自動車道	川口JCT～佐野藤岡IC
E17 関越自動車道	練馬IC～本庄児玉IC
E6 常磐自動車道	三郷JCT～いわき勿来IC
E51 東関東自動車道	全線(湾岸市川IC～潮来IC、茨城町JCT～茨城空港北IC)
E65 新空港自動車道	全線(成田IC～新空港IC)
E14 京葉道路	全線(市川IC～蘇我IC)
C3 東京外環自動車道	全線(大泉IC～三郷南IC)
C4 首都圏中央連絡自動車道	あきる野IC～大栄JCT、松尾横芝IC～木更津JCT
E50 北関東自動車道	栃木都賀JCT～水戸南IC
E50 東水戸道路	全線(水戸南IC～ひたちなかIC)
E14 館山自動車道	全線(蘇我IC～富津竹岡IC、木更津南JCT～木更津南IC)
E14 富津館山道路	全線(富津竹岡IC～富浦IC)
CA 東京湾アクアライン	全線(川崎浮島JCT～木更津金田IC)
CA 東京湾アクアライン連絡道	全線(木更津金田IC～木更津JCT)
E83 第三京浜道路	全線(玉川IC～保土ヶ谷IC)
E83 横浜新道	全線(保土ヶ谷IC～戸塚、新保土ヶ谷IC～狩場IC)
E16 横浜横須賀道路	全線(狩場IC～馬堀海岸IC、釜利谷JCT～並木IC)

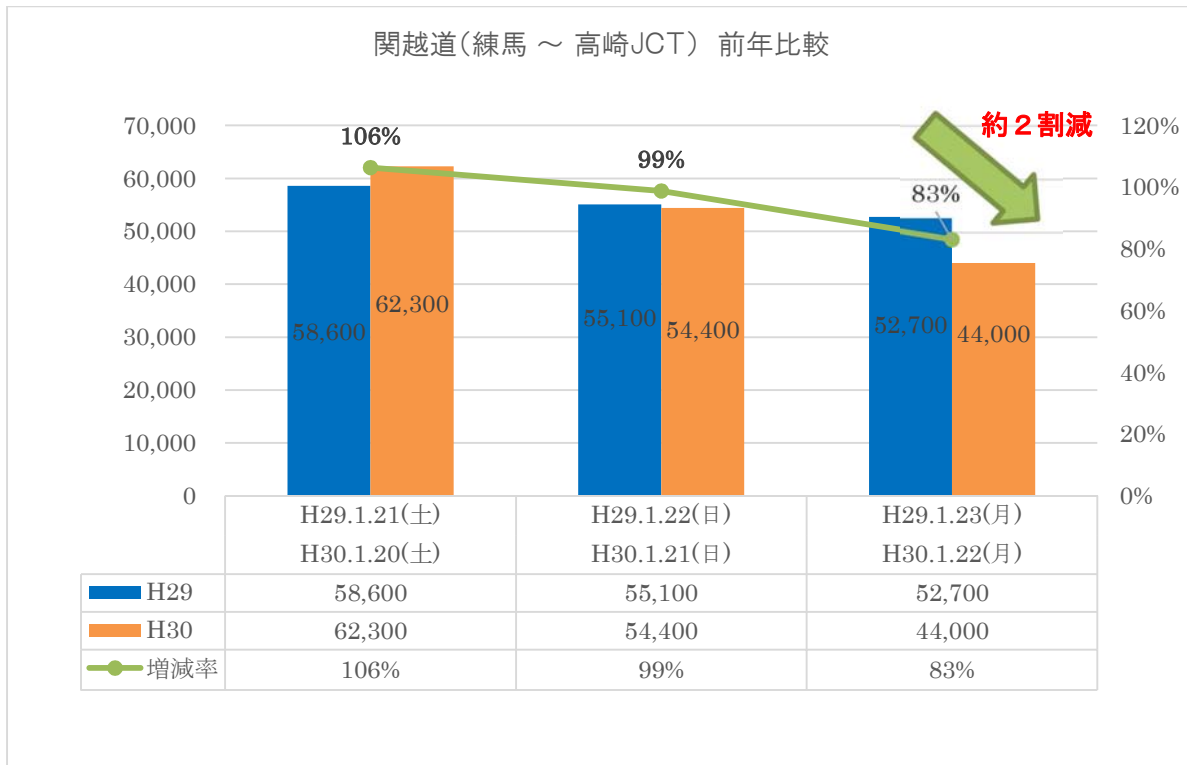
【データ】

■1月20日(土)～22日(月)の首都圏代表路線の日平均交通量 前年同時期比較
(0時～17時(通行止め時間帯除く))

(東北道)



(関越道)



※平均交通量(速報値)
交通量単位:台/0時～17時台

～雪道ドライブのポイント～

* 雪道には冬用タイヤを！チェーンの携行も忘れずに！

基本的に雪道では、スタッドレスタイヤ等の冬用タイヤか普通タイヤにタイヤチェーンを装着した状態での走行となります。ただし、冬用タイヤでも天候や路面状況によっては走行が困難な場合がありますので、タイヤチェーンも携行してください。

* 時間にゆとりのあるドライブ計画を！

降雪状況によっては、速度規制や通行止めが行われる場合もありますので、ゆとりのあるドライブ計画を立ててください。

* 雪道での“急”は禁物です！

急ハンドル・急ブレーキなどの“急”のつく操作は、滑りやすい雪道ではスリップ事故に繋がりやすいので厳禁です。

* 車間距離を十分にとり、スピードは控えめに！

雪道では制動距離が長くなり、乾燥・湿潤路面よりも止まりにくいいため、前車との車間距離を十分にとり、スピードは控えめにしておくことが大切です。

* 雪落としはこまめに！

車の屋根に雪が積もったまま走行すると、雪が塊となって落下する場合があります、後続車に対して非常に危険です。

走行前には必ず屋根の雪を落とすようお願いいたします。



雪道には冬用タイヤを! チェーンの携行も忘れずに

全国にネットワークが広がる高速道路。冬になると出発地は晴れていても目的地や通過地点で雪が降っていることもあります。冬の高速道路では、スタッドレスタイヤなどの冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行をお願いします。

また、これらの装備が万全であっても絶対に滑らないという確証はありませんので、スピードを控えるなど一層の安全運転を心掛けましょう。

●スタッドレスタイヤ

スパイクタイヤと異なりスタッド(金属びょう)のないタイヤ。低温でもしなやかさを失わない特殊配合ゴムを採用、溝の形、切り込み(サイピング)を改良し、従来のスノータイヤよりも制動性能が大幅に向上しています。



●スノータイヤ

雪や凍結路面での制動を良くするため、普通のタイヤより表面に大きな凹凸をつけ、広くて深い溝で確実に雪をつかめる(グリップできる)ようにしたタイヤです。



●タイヤチェーン


スタッドレスなどの冬用タイヤに比べ、最大の制動効果を上げることができます。冬用タイヤといえども、決して万能ではありません。降雪の状況によって、全車両チェーン装着規制が実施される場合もあります。タイヤに頼らず必ずタイヤチェーンを用意してください。




※冬用タイヤ(スタッドレスタイヤ、スノータイヤ)の側面(サイドウォール)には、STUDLESS、SNOW又はM+S、M.S、M&S、M/Sの文字があります。

●滑りやすさはこんなに違う●

摩擦係数

0.7~0.9 乾燥路 

0.2~0.4 圧雪路 3.2倍 

0.1~0.2 凍結路 5.4倍 

0.1 未満凍結路 (つるつる凍結路面) 8.0倍 

注)摩擦係数とは、タイヤと路面間の摩擦力の大きさを表す指数をいい、指数が小さいほどすべりやすいことを意味しています。

資料:(一社)日本自動車タイヤ協会

雪用心 冬装備を細心の注意で安全運転 パンフレットから抜粋 (NEXCO東・中・西作成)

雪氷作業とは

【凍結防止作業】

路面の凍結が予想される場合に、凍結防止のため、事前に凍結防止剤を散布します。凍結防止剤として用いているのは塩化ナトリウムで、散布することによって水の氷点を低下させ、凍結を防ぐことを目的としています。

この作業は、車の走行帯が濡れていない場合でも、降雨や降雪が予測される場合、また路肩に除雪された雪が日中の気温上昇で溶けだし、気温低下に伴って再び凍結してしまうことが予測される場合などにも行います。作業は、確実な作業と交通の安全を確保するため、通常、時速50キロメートル程度で行います。

凍結防止作業

路面凍結が予測される場合に、凍結防止のため事前に凍結防止剤（塩化ナトリウム）を散布します。作業車の走行による速度低下にご理解・ご協力をお願いします。



【除雪作業】

降雪があり、路面に積雪が生じた際に行われる作業です。作業は、2～3台の除雪トラックがチームとなり、追越車線の雪を走行車線に、走行車線の雪を路肩に排除する方法で行います。通常、時速20～40キロメートルで作業を行います。

また、除雪を行った後、路面に残った雪が凍結してしまうのを防ぐため、凍結防止作業を合わせて行う場合があります。

除雪作業

降雪により路面に積雪した場合、除雪車により編成を組み、時速50km以下で除雪を行います。作業中は速度低下により最後尾では渋滞が発生しますのでご理解・ご協力をお願いします。

